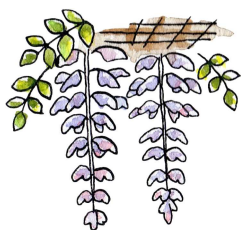


学校だより



おおふじ



9月号

令和元年9月10日

防災訓練

夏休みが終わり、子どもたちの元気な笑顔と声が、大藤小学校にもどってきました。運動会の練習も水曜日から、各学年での取組が始まりました。でも、9月に入ってまた猛暑が復活したような感じです。子どもたちの体調管理に十分気をつけながら進めていきたいと思ひます。

9月のはじめに、学校と地域で防災訓練が行われました。

3日は、大地震が起きた後に津波が発生したことを想定しての避難訓練を行いました。地震が起きた直後にはどうやって落下物から身を守るのか、そして一時避難をして全員の安全を確認した後、救命胴衣を身につけて屋上へ避難する手順と経路を確かめました。

一時避難の運動場から、救命胴衣を着用して南館屋上へ上がるまでにかかる時間は約8分。どの子も落ち着いて行動できました。



今週の日曜日には、学区の合同防災訓練が開催されました。朝8時半から、多くの方々が参加し、消火器の使い方を学習した後、体育館で心肺蘇生法や三角巾の巻き方の実習を、外では放水訓練と煙体験が行われました。

参加した大藤小学校の子どもたちも実際に消火ホースを持って放水を体験することができました。

東南海地震が発生する危険が高まっていると、ここ数年よく報道されています。それとともに、災害が発生したときの備えの大切さがよく話題になっています。

大藤の子どもたちにも、いざという時の対処の方法、心構えが育ってほしいですね。

